

庁議報告事項

開催日：令和4年4月18日(月)

1 岡崎市長から

- 県内ではコロナの感染が微増に転じている傾向にあり、コロナの年代別感染状況を見ると約半数を20代以下が占めているので引き続きワクチン接種を推進すること。
- 4月10日の国保新聞で国際医療福祉大学大学院松本哲哉教授が新型コロナウイルスの現状と課題を説明している。記事では、改めてインフルエンザとの違いやマスクと換気の重要性についても説明されているので今後も引き続き感染対策をしっかりと行うこと。
- 自宅療養者も少しずつ増えており、商工観光部や保健師の皆さんにも負担をかけているが、引き続き対応をお願いする。またコロナの対応が長期化しているので体制や対応方法を見直す必要がある。
- 新年度の予算執行をスピーディーにできるようにしっかりと調整すること。
- 先週の記者会見で事前復興まちづくり計画の策定について、若手中心のプロジェクトチームを立ち上げると説明しており、防災対策部を中心に今月中にプロジェクトチームを結成すること。

2 中澤副市長から

- 土日にコロナ対応をした職員の皆さんはお疲れさまでした。

3 松島副市長から

- 土日にコロナ対応をした職員の皆さんはお疲れさまでした。
- 国の今後の動きとして、コロナの感染状況によっては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額や追加が見送りになる可能性があるため各部局は事業化の優先順位についても視野に入れながら整理すること。

4 各部局から

○ 報告事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症の患者の状況について (危機対策本部事務局)
- ・ 高知市の新型コロナワクチン接種状況(年代別) (健康福祉部)
- ・ 地域コミュニティ再構築事業における地域支援員(地域活動応援隊)の募集について (市民協働部)
- ・ 庁内で不審物が発見された場合の対応について (口頭：総務部)